

平成26年度 白老宏友会事業報告概要

項目	主な概要
法人経営と運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人経営、運営の企画立案と財政健全化を図った。 ・ 法人設立30周年記念式典並びに記念講演の実施。 ・ 地域生活支援ニーズに応えるべく新設 GH「かひ」の建設に着手した（施設整備補助）。 ・ 事業運営の拡充を図るための給食職員研修（大分・福岡）を実施した。 ・ キャリアパスの一環として法人内研修（30周年記念事業）を実施しスキルアップを図った。 ・ 共生型事業を通し地域密着として「はあもにい」の有効活用を図った。 ・ 共同生活援助事業における夜間支援体制の充実を図った。 ・ 白老町津波一時避難所として「愛泉園」を法人として協定する。 ・ 新設事業（特定相談支援事業所）開設の準備。 ・
法人事業とサービス利用状況 (3月末現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同生活援助事業 地域生活支援センター「あぶろ」（定員、現数 92名） ・ 多機能型事業所「ポプリ」（定員 60名） 就労継続 B 型（現数 46名）・生活介護（20名） ・ 生活介護事業所「みらいえ」（定員 40名） 現数（45名） ・ 生活介護事業所「愛泉園」（定員 20名） 現数（26名）
サービス内容状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「あぶろ」 夜間体制支援のニーズとその体制強化を図ると同時に、新設 GH 入居者の入居を見据え在宅者と現利用者の状況把握し入居利用の調整を図ってきた。 ・ 「ポプリ」 工賃向上の目標を明確にし、店舗のリニューアルオープンを手掛け、商品開発や販路開拓の充実を図った。 ・ 「みらいえ」 多様（身障、精神）な利用の展開と、高等養護在校生の積極的な実習受け入れ、市町村事業の日中一時の受け皿として、そのニーズに応じてきた。 ・ 「愛泉園」 開設 30 周年を節目とし、施設運営の安全確保のための修繕、環境整備に重点を図り生活介護の適正支援のための生産活動の見直しを計画した。
法人体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者ニーズに対応すべく組織の活性と運営の充実を図るための職員確保に創意工夫を凝らしたが社会状況は厳しいものがあり特に学卒応募者の対応に反省点があった。 ・ 組織管理と健全経営面から規程（定款、就業規則、臨時職員等賃金規定、運営規程）を改正した。
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人機関誌「はあもにい」を年3回発行し関係機関等への情報提供を実施した。 ・ 社会福祉法人の「経営情報」の公開義務に対応すべく HP の更新をした。